

信大・開放授業 高まる期待

松本 事前説明会に市民30人

信州大学が通常の授業の趣旨や実施形態などを一般市民にも開放する「市民開放授業」の事前説明会が27日、松本市旭3の信大松本キャンパスで開かれた。意欲あふれる約30人が出席し、開放授業の趣旨や実施形態などを説明に熱心に耳を傾けた。

全学教育機構の大塚勉教授が、市民の生涯学習への意欲の高まりを受けた大学の地域貢献の一環と位置づけ、県内各地から通いや分散型キャンパスを生かし実施していることを説明した。社会経験を積み、向学心に燃えた市民の出席によって「教員がよい丁寧な授業を行った」と、学生がへ。

（鎌倉 希）



市民開放授業について理解を深めた説明会

刺激を受けたり、両方にメリットがある」と強調した。

諏訪郡原村の小池和子さん(67)は初めて受講を考え「今まで興味があった歴史などを勉強したい」と話していた。

平成13年度から取り組み、31年度は計65科目と全国的にも充実した授業をそろえている。4月8日に始まり、前期と通年の受講希望者は授業を試聴した上で4月26日までに手続する。1授業科目9400円(通年は1万3400円)。問い合わせは市民開放授業総合窓口(☎0263・37・2870)。(鎌倉 希)

そば殻堆肥でソバ栽培

かまくらや 王滝と共同で



そば殻堆肥の散布が始まった施設の体験農場

ソバ栽培などを手掛けるかまくらや(松本市島立)と飲食店経営の王滝(同市笹賀)が、そば殻堆肥の散布を進めており、4月末に種まきをし、8月初旬には夏そばとして食卓で提供を始める予定だ。

約45ト排出されるそば殻を有効活用しようとして、両社が研究を重ねてきた。有機質肥料製造の今井テクノ有機(松本市今井)が堆肥化を、かまくらやが栽培を担う。そば殻堆肥はソバ栽培に適した水はけがよい土作りに向いているという。

かまくらやの田中浩二社長は「地域の畑と資源を循環的に活用した栽培の仕組みを作りたい」と話し、王滝の高砂圭司常務は「店舗で食を楽しむだけでなく、農業や資源の大切さを知ってもらえる体験も考えたい」と話している。(北原 哲)

肥を使ったソバ栽培を始める。産業廃棄物だったそば殻を資源として循環活用し、栽培したソバを王滝が運営する食事処を備えた施設「信州安曇野そばの郷」(安曇野市三郷)に供給する。

今季は施設周辺の約2畝で、そば殻堆肥を使った栽培に取り組み。堆肥の散布を進めており、4月末に種まきをし、8月初旬には夏そばとして食卓で提供を始める予定だ。

王滝グループで年間約45ト排出されるそば殻を有効活用しようとして、両社が研究を重ねてきた。有機質肥料製造の今井テクノ有機(松本市今井)が堆肥化を、かまくらやが栽培を担う。そば殻堆肥はソバ栽培に適した水はけがよい土作りに向いているという。

かまくらやの田中浩二社長は「地域の畑と資源を循環的に活用した栽培の仕組みを作りたい」と話し、王滝の高砂圭司常務は「店舗で食を楽しむだけでなく、農業や資源の大切さを知ってもらえる体験も考えたい」と話している。(北原 哲)

が、王滝のそば店で製粉の際に出たそば殻などで作る堆肥を使ったソバ栽培を始める。産業廃棄物だったそば殻を資源として循環活用し、栽培したソバを王滝が運営する食事処を備えた施設「信州安曇野そばの郷」(安曇野市三郷)に供給する。

今季は施設周辺の約2畝で、そば殻堆肥を使った栽培に取り組み。堆肥の散布を進めており、4月末に種まきをし、8月初旬には夏そばとして食卓で提供を始める予定だ。

王滝グループで年間約45ト排出されるそば殻を有効活用しようとして、両社が研究を重ねてきた。有機質肥料製造の今井テクノ有機(松本市今井)が堆肥化を、かまくらやが栽培を担う。そば殻堆肥はソバ栽培に適した水はけがよい土作りに向いているという。

かまくらやの田中浩二社長は「地域の畑と資源を循環的に活用した栽培の仕組みを作りたい」と話し、王滝の高砂圭司常務は「店舗で食を楽しむだけでなく、農業や資源の大切さを知ってもらえる体験も考えたい」と話している。(北原 哲)

みすず野

3月末は異動の内示、それに伴う転任・転勤の時期である。昇格して気持ちが高揚した人、新天地に思いをはせる人、その逆の人などさまざまだろうが、ここで定年退職の人も多い。先日、新聞に掲載された県教委の異動で、小中学校校長の退任欄に、高校時代の同級生・同年代7人の名前を見つけた。うち、1人は中学時代からの同年代で、ある飲み会で顔を合わせ、「教職を続けるのか」と聞いたら、「いや、もういい」と言っていた。意味深長な答えとはいえず、望んで教師となり、その道を全うし、校長まで務めて、晴れて定年というところである。現役世代が減少するなか、将来、60歳から65歳定年の社会になると言われるが、定年自体はなくならないうし、あつていい。定年があるから頑張れる。重い荷物を背負って歩けるのだ。定年後はそれを下ろし、補佐的な役割に徹するか、地域に帰るか、別の好きなことをすればいいと思う。◆「人生は二度ある」と言い、60歳から75歳までを「黄金の15年」と名づけて、ここをどう生きるかが一番大事と指摘するのは、ライフワーク研究家の楠木新さん。

2019.3.28

県議選 投票を呼び掛け

県庁に懸垂幕掲示

県選挙管理委員会は27日、県議会議員選挙(29日告示、4月7日投票)への投票を呼び掛ける懸垂幕を県庁に掲げた。県の各合同庁舎などにも掲示する。

県庁に掲示した懸垂幕は縦8.5メートル横1.3メートルで、「投票に行こう! 4月7日(日)とメッセージを添えた。県選管は「長野県の今後を方向付ける大事な選挙。多くの皆さんに投票所に足を運んでほしい」と話している。また、投票日に都合が悪い有権者には、期日前投票(30日〜4月6日)の利用も呼び掛けている。県選管は県内19市にも掲示を依頼し、希望に応じて懸垂幕と横断幕を計42枚送付している。統一地方選挙の後半に市議会議員選挙のある松本市や塩尻市などは、市議選の開票日の4月21日も併記したデザインとなっている。

（赤羽啓司）



県議選への投票を呼び掛ける懸垂幕

STAND BY HOMEは、家の原型である「平屋」をベースとして本当に価値のある住まいづくりを提案しています。

平屋ブランド

STAND BY HOME

新商品発表会 長野県に新登場!!

3月 **30日・31日** 開催

10:00~18:00 10:00~16:00

会場/市民タイムス安曇野支社 山光ホール 安曇野市穂高高原2684

会場

大町市常盤にモデルハウス **5.1(wed) OPEN!!**

新登場 モニターハウス募集!!

【特別価格にて】

※詳細はお問い合わせください

あなたの本、**展示します。**

締切り **迫る!**

作品募集!

BookCafe実行委員会では「第3回 Book Cafe」で展示紹介する、自費で作られた冊子・書籍を募集しています。あなたの本を展示しませんか? 歌集・句集・詩集・写真集・同人誌等、分野は問いません。

第1次締切り: 3月31日(日)

期日: 2019年4月20日(土)・21日(日)

場所: アイシティ21 1F モール「第3回 Book Cafe 特設会場」